

令和7年10月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

東部地区漁業士会総会・行政との意見交換会が開催されました

9月9日、東伊豆町稲取で東部地区漁業士会と行政との意見交換会が行われました。この会は、地区の漁業者の取組や課題を行政側に知ってもらい、課題解決に向けた意見をお互いに出し合う場として年1回開催しています。

現在、伊豆地域の漁業は長期間に亘った黒潮大蛇行の影響で苦しい状況にあります。磯焼け対策では各地で食害生物の採捕活動が行われていますが、採捕されるウニやブダイの利活用が課題となっているため、当场から食品としてより高く評価される処理方法や、新たな流通先について情報提供を行いました。

特に、磯臭いと言われ、単価が安くなりがちなブダイは、翌週から漁期が始まるイセエビ刺網にか

かるため、これを流通に乗せ副収入にできないかという当场の思いもありました。

会議の場では、手間に見合う単価が必要、量が安定しないと価格を維持できないといった意見が交わされ、後日、参加漁業士から刺網にかかったブダイの処理や販売方法に関する問合せが当场に寄せられました。

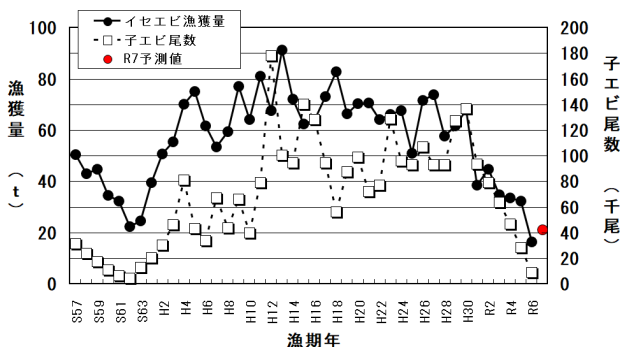
意見交換会の場で話した内容が、地区の課題解決につながることを願っています。



イセエビの漁況予測

当场では毎年イセエビの漁期（9月16日～翌年5月14日）前に、下田・南伊豆地区の漁況予測を発表しています。漁獲量と子エビ尾数の推移を下図に示しました。両方とも令和に入り減少傾向が顕著で、低水準であった昭和の後半と同水準まで落ち込んでいます。漁況予測については、令和以降の漁獲量と子エビ尾数との関係式から21トンと予測しました。

黒潮の大蛇行が終息したとの発表がありましたが、今後、環境の変化やイセエビの漁獲の動向を注視していきます。



賀茂地域局 仁科で海業の視察

9月25日に静岡県賀茂地域局長ほか、賀茂地域の県行政機関の職員12名が、伊豆漁業協同組合仁科支所を訪れ、海業の先進的な取組を視察しました。漁港で実施している海釣りGO!!、直売所の「はんばた市場」で、釣った魚を西伊豆町の地域通貨で買い取る「ツッテ西伊豆」、特産のイカ料理を提供する漁協直営の「沖あがり食堂」の取組について説明を受け、施設や港の現場を見て回りました。

現場を知ってもらうことで、理解が進み海業の取組支援につながればと思います。



伊豆漁協（仁科）と港で海業の説明を受ける

10月の予定 ●潜水調査（稲取、菖蒲沢、白浜） ●キンメダイ親魚採捕調査 ●イセエビ測定（下田、南伊豆） ●賀茂船主キンメ部会総会（3日） ●資源海洋調査研究会（8～9日WEB） ●田子カサゴ放流対応（9日） ●駿河丸キンメダイ漁場地形調査（27～30日） ●下田中学校職場体験対応（30、31日）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

当场には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。